

国際理解教育/開発教育 学習指導 (活動) 案

【実践者】

授業者氏名	阿部恵子	学校名	兵庫県立姫路北高等学校
教科 (科目)・領域	家庭 (家庭基礎)	対象学年 (人数)	2年次 (88名) 公開授業2-A
実践期間 (時数)	令和5年9月 ~ 12月 (5時間)		

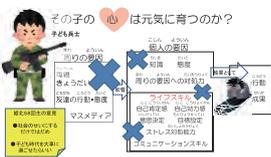
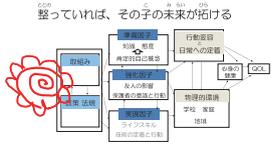
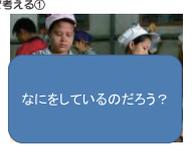
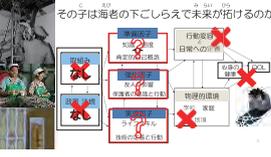
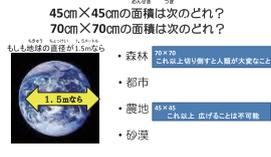
【実施概要】

1. 単元名(活動名) : 地球上の子どもの暮らしを良くする方法を考える						
2. 実践する教科・領域 :		3. 学習領域				
家庭 (家庭基礎) : 子どもの発達と保育 共生社会と福祉			1	2	3	4
		A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
		B グローバル社会	相互依存	情報化		
		C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
		D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標						
地球上の子供達が適切な環境や社会の中で心身ともに健やかに生まれ育ち命を全うできることをめざす、その方策についての考えを深め、次世代を見守り育む年長者としての態度や行動力を身につける。						
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	子どもを守る理念の成立過程を理解し、児童の権利を侵害する 因子を把握して子どもを取り巻く問題を分析できる。				
	②思考力、判断力、表現力等	子どもの権利を擁護する共感的思考にもとづき、平和で安全な 生育環境の実現をめざした行動の案を他者と共有できる。				
	③学びに向かう力	子どもの尊厳を大事にしようとする、年長者としての使命感と 連帯感を獲得できる。				
6. 単元設定 の理由・単元 の意義	<p>【単元設定の理由】</p> <p>地球に生きる次世代とわが国の高校生が共通して経験しているライフステージは、乳幼児期や学童期である。主題「子どもの権利」を扱うにあたり、幼少期のケガや事故を導入に置いて学習を進めることで、土台となる知識の定着が不十分な学習者であっても、当事者に近い視座で世界の医療・福祉・教育の現状や自己実現を阻む背景への理解と考察を深めることが可能となる学習にしたい。そして、課題解決のための行動を始める契機としたい。</p> <p>【生徒観】</p> <p>高校生が次世代と関わる実体験の少なさは、将来、親世代として家庭生活を営む当事者としての自己効力感に少なからずマイナスの影響を及ぼしている。また自身の育ちの過程への自己評価が低い場合、自尊感情にも作用する。一方で、家族を創る意志がじゅうぶんに成熟していなくても、子どもへの関心は高く、保育分野学習を心待ちにする生徒は多い。</p> <p>【教材観】</p> <p>子どもの権利についての学習は、それを誰のためにどのように行使するかという視点がなければ、単なる自己中心な権利意識の獲得に留まり、学ぶ事柄を知力として活かしにくい。JICAのリソースは世界の諸課題を複眼的に捉えるものが多く、世界の子どもの権利を守る立場・子どもとして守られる立場の両方から考察を深める学びに適した題材となっている。</p> <p>【指導観】</p> <p>本主題を医療・福祉、教育・労働、資源や環境保全の学習と関連付けて取り上げ、学習者に未来を創る主体者であることへの意識と課題解決の意欲を持たせたい。授業では、環境課題の現実、資源配分の不公平さ、豊かさの裏側に潜む問題点を感覚的に捉えられるよう教具の工夫を行う。課題解決のアイディアを共有し、自らを人的資源として活かす意思決定と実践的行動力が最終的に身につくように導きたい。</p>					

7. 単元計画 (全5次)			
次	ねらい	学習活動	資料など
1 7月	子どもが豊かな幼少期を過ごし成長していけるよう社会と環境を整えることは「年長者」の役目である、ということに気づく。	<ul style="list-style-type: none"> 導入として生徒自身の幼少期の体験談「私の危ない話」を発表する。 幼少期の病気や怪我、家庭内事故に関する情報を共有し、発達段階を考慮した支援の手立てを考える。 公衆衛生を評価する手法として KAB モデルや、PRECEDE-PROCEED Model (プリシード・プロシードモデル) を知り、子供を守る社会や環境の考察に用いる。 	山中龍宏 「子どもを守る」 読売新聞 医療・健康・介護サイト
2 9月	命と人権を尊重する視座から、子どもを取り巻く課題に向き合い、子どもの生活の営みと社会や環境の関わりを総合的に認識・理解するようになる。	<p>ジグソー学習「その子の話」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「その子」の境遇に関する解説を傾聴し、当事者の様子を写真で知る。 次世代や同世代が直面する境遇や問題を代弁する作業を通して、世界の課題を「自分事」として考察する。 グループ内で事例について、以下の点に着目して話し合う。 <ol style="list-style-type: none"> ①当事者が出現する背景 ②当事者が失っていくもの ③その子のために何が必要か 最も弱い存在、脆弱な部分を大事にすることが社会全体を良くしていく事例を挙げる。 	授業 PowerPoint
3 指導案	開発途上にある国や地域の子どもが置かれている状況、および、終戦後の日本の子どもが受けた国際援助の歴史から、国際協力の意義を考えて、次の子ども世代のために、自分たちができる協力のアイデアを考えるようになる。	<p>写真で考える『その子』の暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時で取り上げた「その子」を取り巻く環境の一端を見る。 <p>エクササイズ「地球が直径 1.5m なら」</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源分布の不均衡を身近な尺度で知り日本と世界との相互依存を自分事として考察する。 <p>解説「日本の復興と国際協力」</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦後日本が受けた援助の歴史について解説を聞く。 <p>意見交換「地球市民として考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代のために展開されている国際協力を知って、自分にも出来ることは何か、事例をもとに意見交換する。 	授業 PowerPoint <p>教育図書家庭教科書 Survive! 海を渡る母子手帳</p>
4	私たちの日常生活と無関係ではない社会課題や地球規模の問題に向き合う人々の活動を理解し、持続可能な社会の構築を意識した自己の行動様式を確立する。	<p>提言「地球上の暮らしを良くする方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの権利擁護のための具体的行動のアイデアを共有する。 海外協力隊の要請一覧を閲覧し、開発途上国から期待されている「人による支援」の具体例を知り意義を考える。 自分らしい生き方の選択と生活設計の考察へとつなげるための、作文執筆に着手する。 	JICA 要請一覧他 探してみよう！国際協力の方法 <p>国際協力エッセイコンテスト</p>

8. 本時の展開

開発途上にある国や地域の子どもが置かれている状況、ならびに第2次世界大戦後の日本が受けた国際援助の歴史から、国際協力の意義を理解し、自分たちにできる次世代支援のアイデアを考える。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点	資料 教材
導入	<p>○子どもの権利を守るために、自分に何ができるのか考える、という着眼点を知らせる。</p> <p>T「これまで『児童が人として尊ばれ、社会の一員として重んぜられ、よい環境の中で育てられる』ことを実現するのは保護する立場の者の役目であることを学習しました。さらに学びを深め、皆で次世代のことを考えましょう。」</p> <p>① 写真で考える『その子』の暮らし</p> <p>○前時で取り上げた『その子』への生徒の眼差しを紹介し、続けて児童労働の写真を示す。</p> <p>T「一枚の写真の一部分が見えています。見えている箇所からどんなことが考えられるか、話をしてみましょう。」</p> <p>○途上国の子どもが育つ社会や環境の現実の一端を知らせる。</p> <p>T「みんなで見た一枚は、子どもの権利が侵害される写真でした。このような児童労働はどこに原因があるからだと思いますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その子の労働環境が良くないことを、エビフライを作る会社は知っているのですか。 ・その子の境遇は、安価な買い物をする日本の私に原因があるということですか。 	<p>意見交換をともなう授業であるので少人数でおこない、「ふきだしくん」「Google Jamboard」などのアプリケーションも活用する。</p> <p>自分たちの班の話に集中するよう促す。</p> <p>前知識にあるフェアトレードの視点を披露する発言は丁寧に聞き取って、単純な原因究明に至らないように気を付ける。</p>	  <p>写真で考える①</p>  <p>写真で考える②</p>  
展開	<p>②エクササイズ「地球が直径 1.5m なら」</p> <p>○相互依存の世界の中で、先進国だけが繁栄を享受する段階ではないことへの理解につなげるために地球を縮小換算して示し、資源の問題を「自分の問題」としてとらえる。</p> <p>○中国の砂漠化の様子を示すスライドを見る。</p> <p>○ボルネオ島（マレーシア）アブラヤシ農園の様子とそこに働く人のスライドを見る。</p> <p>「国の違いは仕方ない、頑張る国は豊かで当然と言う人もいますが、見えない油脂パーム油を生産現場を見て、どのように考えますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結局、立場の弱い人が苦しめられる。 	<p>レスター・R・ブラウン氏の解説を演算したクイズで示す。</p> <p>地球の直径が 1.5m なら淡水は約 60ml。農地面積は約 45 cm × 45 cm と換算されるが、森林を切り崩さない限り地球上でこれ以上の農地を拡張られないことと、限られた資源を人類で分け合っていることを考える。</p>	<p>1m ものさし 45cm × 45cm の布</p> <p>45cm × 45cm の面積は次のどれ? 70cm × 70cm の面積は次のどれ?</p>  <p>「繊維の宝石」カシミアを増産したら</p> <p>羊の横っこまで食べます。1頭から得られる繊維 150g~200g</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マフラー 1頭分 ・セーター 4頭分の繊維 ・コート 8頭分の繊維 <p>中国内陸部では砂漠化が止まりません</p> 

○熱帯雨林の減少、食料の課題と人口の推移等を考え、意見交換する。

T「私法には『国籍・階級・職業などにかかわらず、すべての人は等しく権利義務の帰属主体となる資格を持つ』という原則があります。一方、資源は最初から平等に分布していません。その地球の現実に、私達はどうか向き合ってきたのでしょうか。考えてみましょう。」

- ・資源の差が奪い合いの原因になってきた。
- ・国土の特徴や資源の不足を知恵で補った。
- ・みんなで分け合う意識がうまれた。

③解説「日本の復興と国際協力」

○戦後日本が受けた援助の歴史を知る。

T「敗戦後、国際社会からの支援を受けた日本は戦後6年で復興を果たし、自らが支援する側になりました。豊かになった日本は世界の課題解決に向けて国際協力を行ってきました。」

- ・具体的にどんな協力ですか。

T「教科書には『海を渡る母子手帳』として JICA ガーナでの取り組みが載っています。日本国がおこなう支援は、技術協力、有償資金協力、無償資金協力の手法を一元的に手がけます。そのため、効率的に援助を展開できるので相手国から信頼されています。」

- ・現地の人と力を合わせる方法は良いと思う。

④意見交換「地球市民として考える」

○NPO 団体のサイトから途上国の子どもの育成に貢献する取り組みだと思えるものを検索して各自のプリント上で分類し意見交換する。

- A：医療や福祉を改善する団体、取組み
- B：学ぶことや働くことを支える団体、取組み
- C：平和と人権文化を築く団体、取組み
- D：快適な暮らしを実現する団体、取組み

T「たくさん存在する NPO 法人の中で、興味をもった団体、ボランティアとして参加してみようと思った取り組みはありましたか？」

- ・ロシナンテスの医療支援はスマホでも見た。
- ・NGO しか知らなかった。いろんな団体がある。

日本での取り組みが遅れていると指摘される SDGs ゴール 14 にふれてもよい。

私法三大原則の一つである「権利義務の帰属主体となる資格を持つ」を平易な表現で言い換えて補足する場合、単純な言説は避ける。

各国で行う国際協力の他、①の『その子』たちの状況を改善させた取り組みも示しておく。

教科書「共生社会」を参照、NPO に言及。

SDGs 目標との関連はプリントに示すが詳説は事後に行う。

- A：3 3 4
- B：1 4 8 9
- C：5 10 16 4
- D：2 6 7 11~15

*以上の分類は例示

支援が必要な対象生徒には教師が抜粋し示した端末情報を閲覧してもらう。



外務省パンフレット
「日本の国際協力
世界と地球の未来のために」



探してみよう！子どもを守る国際協力
NPO法人ポータルサイト - 内閣府 (npo-homepage.go.jp)
[2023年最新]寄付するならどこがいい? 信頼できる団体7選 | キフシル (kifushiru.com)
子どもが売られない世界をつくる | 認定NPO法人かもはしプロジェクト (kamonahashi-project.net)

<p>まとめ</p>	<p>○次世代にとって望ましい未来を作るための自分にできる協力のアイデアをブレインストーミングする。</p> <p>T 『「世界の子ども、次の世代が幸せに暮らしていくための自分に出来る協力』のアイデアを今みなさんで考えていきましょう。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の高校と国際協力について意見交換する。 ・国際協力や他国に関心を持ち続けていく。 ・自分の消費生活を間違いのないようにする。 ・スマホで遊ぶのではなく、児童労働に対する考えをネットで発信していく。 ・みんながひとつになって助け合う。 <p>○生徒の発言と家庭科学習がどう関連するか、学習してきた事柄との接点を紹介し、今後続く教科学習活動への意欲を喚起して締めくくる。</p>	<p>本校生徒のように働いていない高校生が発案したことや国際協力への想いを紹介し、寄付以外の協力も発案できるように促す。</p> <p>一人の行動は微力でも無力ではない事、保育学習だけでなく他の学びも持続可能な社会実現に繋がることに気づくよう、導く。</p>	 <p>群馬県前橋市に事前キャンプで滞在する東京五輪南スーダン選手団宛てに届けた兵庫県立須磨東高校の便りを伝える記事 (上毛新聞)</p>
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

9. 評価規準に基づく本時の評価 (評価方法)

開発途上にある国や地域の子どもが置かれている状況、および、終戦後の日本が受けた国際援助の歴史から国際協力の意義を理解し、次世代が適切な環境や社会の中で健やかに人生をおくれるためのアイデアを、既存の国際協力事例をもとに考えるようになる。

観点 と評価方法	段階	優れている	目標に達した	目標に達しない
知識・技能 考査問題 Google Form		既習事項と十分に関連付けて、子どもの権利擁護のための具体的な知識を身につけた。	子どもの権利擁護のために必要な情報を自ら集めて整理できた。	子どもの権利について支援があっても前知識以上の獲得が困難。
思考・判断・表現 机間巡視 授業プリント		子どもの権利擁護の理念や実際の行動に移す大切さをよく考えた。他者の意見に傾聴し、さらに考察を深めた。	子どもの権利擁護のためどう行動できるか、考えを深めた。他者の意見に傾聴していた。	世界の子どもの権利を擁護する考察が不足。他者の話をあまり聞くことができていない。
主体的に取り組む姿勢 意見交換の記録		意見交換記録が丁寧に詳しく記述して提出。子どもの権利擁護に取り組む強い意欲を持った。	意見交換記録がある。期日に合わせて提出。子どもの権利擁護に取り組む意欲を持った。	意見交換とその記録が曖昧である。または、未提出である。子どもの権利に関心を持つにとどまった。

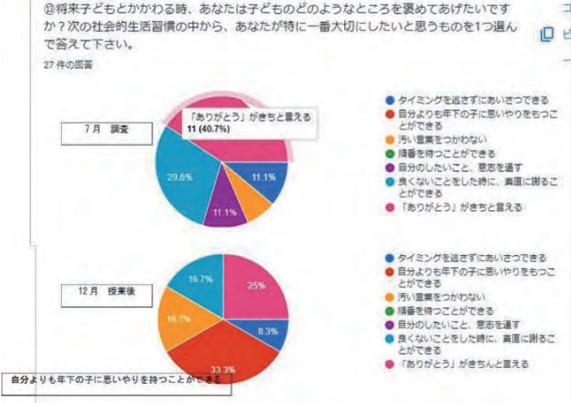
10. 学習方法および外部との連携

- ・公衆衛生を評価するフレームワーク PRECEDE-PROCEED Model を神戸大学丸谷宣子名誉教授の手法にならって用いた。フレームワークを用いることで認知特性があっても問題の焦点化を行えるうえ、国際協力現場で展開される支援が各種アセスメントに基づくことへの説明に結びつけられる。
- ・エビ加工工場労働者の写真は、兵庫県立大学の野津隆志名誉教授から提供を受けた。

11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み

- ・兵庫県高等学校教育研究会家庭部会第4学区研究発表担当校研修会 (評価基準の報告) 12月1日

【自己評価】

12. 苦勞した点	働きながら夜間に学ぶ本校生徒は、日本の社会課題を同世代の高校生より見知っている。自らもそれら社会課題の当事者で、肌感覚で問題をとらえられているからであるが、解決が容易ではない現実も熟知している。大半の生徒が経済的事情により海外渡航経験が無く、長期欠席などの諸事情による初等教育段階での学習への遅れに起因する世界観や認知地図の狭さを特性として持っている。このような生徒に開発教育を行うとき、それが伝わらなければ、授業内容の認識は「よくわからない外国の話」で終わる。解説の糸口を可能な限り生徒の心情に合わせられるよう対話を重ねたが、生徒の前知識の格差を指導案に反映する難しさを感じた。																												
13. 改善点	<p>・指導案の予想される生徒発言は本校生徒を想定して記述した。①写真で考える『『その子』の暮らし』の「その子の境遇は、安価な買い物をする日本の私に原因があるということですか。」は、定時制高校生徒に特徴的な内言であるので敢えて記載している。普通科高校でこのような発言が出た場面、消費生活の学習へと繋げるよい機会となるが、本校生徒の場合は個々の自尊感情にかかわる発言なので臨機応変に 대응する必要がある、本指導案にその展開を具体的に示してはいない。</p> <p>・②エクササイズ「地球が直径 1.5m なら」の理解度には格差があった。また、各自に渡した端末で Google Earth も活用するよう指示したが、定時制高校生徒は BYOD に馴染みが薄いため端末操作に時間を要し、満足できるレベルまでの探究ができていない様子が見受けられた。検索のための十分な時間確保が必要だった。</p>																												
14. 成果が出た点	<p>授業公開したクラスの保育分野学習が一旦終了した 7 月調査 (N=27) では、「将来子どもとかかわる時、あなたは子どものどの社会的生活習慣をほめたいか。大切にしたいと思うものを 1 つ選んで答えて下さい。」に対し多くの生徒が『『ありがとう』がきちんと言える。』を選んで回答していた。同設問の公開授業直後調査 (n=12) では、前回の回答がゼロであった「自分よりも年下の子に思いやりをもつことができる。」が若干名増えた。 * n=12 は出席、受講者数</p>  <p>⑧将来子どもとかかわる時、あなたは子どものどのようなところを褒めてあげたいですか？次の社会的な生活習慣の中から、あなたが特に一番大切にしたいと思うものを1つ選んで答えて下さい。 27件の回答</p> <p>7月調査</p> <table border="1"> <tr><td>「ありがとう」がきちんと言える</td><td>40.7%</td></tr> <tr><td>自分よりも年下の子に思いやりをもつことができる</td><td>29.6%</td></tr> <tr><td>思いや言葉をつかわない</td><td>11.1%</td></tr> <tr><td>順番を待つことができる</td><td>11.1%</td></tr> <tr><td>自分のしたいこと、意志を通す</td><td>0%</td></tr> <tr><td>良くないことをした時に、真摯に謝ることができる</td><td>0%</td></tr> <tr><td>「ありがとう」がきちんと言える</td><td>0%</td></tr> </table> <p>12月授業後</p> <table border="1"> <tr><td>自分よりも年下の子に思いやりをもつことができる</td><td>33.3%</td></tr> <tr><td>「ありがとう」がきちんと言える</td><td>25%</td></tr> <tr><td>思いや言葉をつかわない</td><td>16.7%</td></tr> <tr><td>順番を待つことができる</td><td>6.3%</td></tr> <tr><td>自分のしたいこと、意志を通す</td><td>0%</td></tr> <tr><td>良くないことをした時に、真摯に謝ることができる</td><td>0%</td></tr> <tr><td>「ありがとう」がきちんと言える</td><td>0%</td></tr> </table>	「ありがとう」がきちんと言える	40.7%	自分よりも年下の子に思いやりをもつことができる	29.6%	思いや言葉をつかわない	11.1%	順番を待つことができる	11.1%	自分のしたいこと、意志を通す	0%	良くないことをした時に、真摯に謝ることができる	0%	「ありがとう」がきちんと言える	0%	自分よりも年下の子に思いやりをもつことができる	33.3%	「ありがとう」がきちんと言える	25%	思いや言葉をつかわない	16.7%	順番を待つことができる	6.3%	自分のしたいこと、意志を通す	0%	良くないことをした時に、真摯に謝ることができる	0%	「ありがとう」がきちんと言える	0%
「ありがとう」がきちんと言える	40.7%																												
自分よりも年下の子に思いやりをもつことができる	29.6%																												
思いや言葉をつかわない	11.1%																												
順番を待つことができる	11.1%																												
自分のしたいこと、意志を通す	0%																												
良くないことをした時に、真摯に謝ることができる	0%																												
「ありがとう」がきちんと言える	0%																												
自分よりも年下の子に思いやりをもつことができる	33.3%																												
「ありがとう」がきちんと言える	25%																												
思いや言葉をつかわない	16.7%																												
順番を待つことができる	6.3%																												
自分のしたいこと、意志を通す	0%																												
良くないことをした時に、真摯に謝ることができる	0%																												
「ありがとう」がきちんと言える	0%																												
15. 学びの軌跡	<p>授業直後に Google Form で集約した意見</p> <p>「授業で特に印象に残った部分はありましたか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童労働 ・ 火垂るの墓 (戦争の話) ・ 地球が直径 1.5m ならのたとえ話 <p>「地球上の子どもの暮らしを良くするためにどんな事をしたいと思いましたか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 募金 ・ 寄付 ・ ユニセフなどの団体に募金 ・ そのことについて考えること ・ 助け合い ・ 教育へのアクセス向上 ・ 保護環境の整備 ・ 教育支援 ・ コミュニティ活動 ・ 資源の無駄遣いをしない ・ ごはんを残さない ・ 地産地消に協力する。投票に参加する。システム改革する。みんなで意見交換。 																												

授業プリントへの書き込みと生徒の自由記述

*国際協力団体と国内の課題解決に携わる団体との区別ができていないまとめもあったが、生徒は多くの情報源にたどりついていた。「あなたがしたい国際協力に必要なものは何ですか。」に対しては、意外にも「人権」「平和」という記述が多く、生徒なりに昨今の報道を通し世界の様相を憂えているのではなかろうかと感じた。

医療や福祉で子どもを守る 団体の名前(JANIC) どんな取り組み(老若の所信高直で道と国の視力カチン)
子どもの学び、働くことを支える 団体の名前(ホーム・トゥ・リード) どんな取り組み(男女平等の文化が育つ活動)
子どもが安心できる平和・人権文化を築く 団体の名前(ヒューマンライツ・ナウ) どんな取り組み(子ども、女性など立場の弱い人々の権利)
子どもの快適な生活を可能にする 団体の名前(カモのぼし) どんな取り組み(人身売買被害者によりその活動)

医療や福祉で子どもを守る 団体の名前(9-11ド・ビルド・アップ) どんな取り組み(日本国内の医療サービス提供の活動)
子どもの学び、働くことを支える 団体の名前(日本ユニセフ協会) どんな取り組み(子どものために5に後の教育を提供)
子どもが安心できる平和・人権文化を築く 団体の名前() どんな取り組み()
子どもの快適な生活を可能にする 団体の名前(Learning for All) どんな取り組み(子どもに5に活動の機会を提供)

医療や福祉で子どもを守る 団体の名前(世界子どもワクチン基金) どんな取り組み(肺炎集めて開発途上の子どもにワクチン)
子どもの学び、働くことを支える 団体の名前(国際NPOニルンアリン・ザ・チルドレンズバンク) どんな取り組み(スラムの家庭や児童福祉施設と訪問)
子どもが安心できる平和・人権文化を築く 団体の名前(NPO チャイルドボクサー・ジャパン) どんな取り組み(ケニアとオンラインでつながる)
子どもの快適な生活を可能にする 団体の名前(タイガー モーター株式会社) どんな取り組み(子どもモチの乗車せハイスコアも考える)



*自由記述欄に全く記入が無かったり、他者からの写しだけのプリントは各クラス2割程度で、全体の3割は「募金をする」等の記述だった。それ以外は以下の通り。

- ・スマホで遊ぶのではなく、児童労働に対する考えをネットで発信していく。
- ・日常生活の中で少しでも外国のことに目を向ける。
- ・パーム油を私達が使うから働く人がいるわけなので、使わないようにする。
- ・児童や外国人の労働力が安く使われている情報を知らないみんなに広げていく。
- ・抗議しに行つてあげる。
 - ・大人が動く。
- ・低賃金で働かされている人たちの事を思って毎日を過ごす。
- ・悪徳企業の利益に貢献しないようにする。
 - ・製造元をよく調べてから買う。
- ・お店に並んでいる商品を見極めたり調べたりしてから、買う商品を選ぶ。
- ・自分の周りに児童労働をさせられている子がいたら、話を聞いて信用できる大人に相談や協力を求める。
- ・過度に安いチョコなどを買うのをひかえたり、この製品はどういう過程をふまえて作られているかなど調べてみたりする。
- ・私はカカオ生産者に少しでも還元できるように、高いけれどカカオ生産者に支援できるチョコを買っています。
- ・ITやロボットを使い、怪我のない作業場をつくる。
- ・私達が行動してもすぐに変わらないので国際的な活動をする団体に期待する。
- ・自分が何をしても児童労働はなくなる。その国が変わらないと意味ない。

*下線をつけた文章以外で否定的な記述は無かった。書き手の背景を考慮すると、この記述であっても、考え抜いた自らの思いを表現できたことを評価したい。

<p>16. 授業者による自由記述</p>	<p>公開授業の次の授業で検索の続きをおこなった。各団体のホームページが充実しているので、生徒は普段とは格段に違う集中力で興味深げに閲覧し、意見交換をしながらプリントにまとめていた。本授業では、高畑勲監督作品「火垂るの墓」の冒頭シーンをフォトランゲージとして活用している。物語を知る生徒が発言したい様子でもあったので、戦争孤児の話に発展させた。親を亡くした育ち盛りの子が、訳も分からぬ状態に追い込まれた挙句、腹を空かせ息絶えるその最期を代弁するうち、何かの体験と重なるからだろうか、泣いていたようだった。水溜まりからチューブで泥水を吸って水分を摂ろうとするパレスチナでの幼児の映像の話もした。授業者が子どもの頃に学校で教わった世界情勢は未だに収束しないどころか混迷を極めていること、そしてこの授業がプリント上の国際協力で終わりはしないかという矛盾した「大人」の意識を率直に話してみた。意識の高い学生が好んで取り組む学習活動を、殊の外苦手とする本校生徒だが、素直に検索する様子や「この団体は良い」と情報交換する姿から、『私たちにも協力する能力や意欲があるのですよ』という静かな、けれどもきっぱりとした強い意思を確認できた。今後の授業に繋げたい。</p> <p>最後までご丁寧なアドバイスを下さった大津先生、伴走し臨機応変に授業評価の機会を整えて下さった事務局の安日様、並びに JICA に心からお礼申し上げます。</p>
-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参考資料：

- ・ [子どもの学びを守る、児童労働撲滅に向けたブロックチェーンシステムの可能性 | 2022 年度 | トピックス | ニュース・JICA](#)
- ・ [NPO 法人ポータルサイト - 内閣府 \(npo-homepage.go.jp\)](#)
- ・ [関西の NPO/公益法人/社会的企業一覧ページ | activo \(アクティボ\)](#)
- ・ [【スポーツは未来をひらく】平和と結束をもたらし、母国の希望となる —そして、南スーダンから東京オリンピックへ | 2021 年度 | トピックス | ニュース・JICA](#)

1

かんが 考えてみよう
ちきゅうじょうのこどもの暮らしをよくする方法
「地球上の子どもの暮らしをよくする方法」



- 1 写真「その子」の暮らし
「その子」の事情を知って、問題の原因を分析しよう。
- 2 エクササイズ 直径1.5mで考える地球
地球と日本と私たちの生活を自分事として考えよう。
- 3 意見交換 地球市民として協力しよう
世界の未来を考え、今の自分にできることを伝えよう。

2

じどう ろうどう じんしんばいばい となり くに いほうにゆうこく はたら こ
児童労働・人身売買 隣の国から違法入国し、働かされている子ども




3

その子は海老の下ごしらえで未来が拓けるのか

4

せんしんこくむけ ゆしゆつ せいさんげんば
先進国向け輸出パーム油の生産現場



5

きしょうせいぶつは 追害されました
マレーシア・サバ州で高殺されたとみられる母豚に寄り添う生後約3カ月のボルネオゾウ
ボルネオゾウ 相次ぎ毒殺?



6

せんい ほうせき そうさん
「繊維の宝石・カシミア」を増産したので
草の根っこまで食べます
1頭から得られる繊維 150g~200g
詳しくは 衣服の授業で学習
•マフラー 1頭分
•セーター 4頭分が必要
•コート 8頭分が必要



7

中国内陸部では砂漠化が止まりません

8

淡水の容積は次のどれで表せられる？

もしも地球の直径が1.5mなら

- 500ミリリットル
- 150ミリリットル
- 60ミリリットル

9

45cm×45cmの面積は次のどれ？
70cm×70cmの面積は次のどれ？

地球の直径が1.5mなら

- 森林 70×70
これ以上切り倒すと人類が大変なことに
- 農地 45×45
これ以上 広げることは不可能
- 都市 ~~X~~
- 砂漠 ~~X~~

「なにを食べるか」で養える人口はちがってきます

約70億人分	約6.3億人分	約4.4億人分
--------	---------	---------

10

日本も海外からの援助で立ち直りました

東海道新幹線 黒部第4ダム

世界銀行からお金を貸りてつくった

11

JICAの有償資金協力でこの一帯を植林した郭さん

中国 内モンゴル自治区

日本の国際協力 いいね！

12

JICA スポーツを通じた平和促進

南スーダン選手団を受け入れた前橋市へのエール

兵庫の高校生からメリークリスマス 前橋でキャンプの選手に

ちきゅうじょう こども く ほうほう
地球上の子どもの暮らしをよくする方法を考える

当事者意識で考えよう 班活動 ジグソー学習「その子」の話

- 進め方
1. 状況説明 … あらかじめ決めたエキスパートが、「その子」の状況を代弁します。
 2. 傾聴する … 状況をよく聞きとり、「その子」の背景を理解します。質問してもかまいません。
 3. 対策を考える … 同世代または年長者として、どうしたら「その子」を守れるか考えましょう。

状況	当事者が うしなっていくものは なに何?	どうして その関係性が つづいて 続いてしまうのか	かがいかわ きょうしや 加害側(強者)に かけて 欠けているもの	「子どもの権利」侵害に発展させない対策	
				はいけい はあく 背景を把握する ためには	とうじしや ほんね 当事者が本音を いえるには
じどう 児童 ろうどう 労働	エキスパートへの配布資料：開発教育協会、 パーム油のはなし～「地球にやさしい」ってなんだろう？改訂版				
しょうねんべい 少年兵	資料：原 貫太、 HUFFPOST 2017年4月3日 18時 12分配信				

ぶんきん かいしやう
分析・考証「その子の暮らし」



きつさい くに
撮影した国
：タイ
(違法入国)した
子どもは(摘発)
されないように
(天井裏)に
(隠されて)いた。



(隣の国)から(違法入国)した子どもや若い人が(働かされ)ている。
タイのどこで? 🇹🇲 (エビの加工工場)



ちゅうごくないりくぶ たみんぞく く
中国内陸部、他民族が暮らす内モンゴル自治区では
(砂漠化)が進んで、大事な(家畜)が減り
生活が(苦しく)なっていった。
次世代に(放牧の文化)を継承できなくなった。

たすけあひのこころ むかし いま
助け合いの心 昔と今

ぶたい じだいばしょ
舞台となった時代場所：
1940年の神戸三宮→

次のシーンで

おむすびを置く人が出ます



うつ ひと
写っている人：→
みなみすーだん わかも
南スーダンの若者
ぐんまけん
2019年群馬県

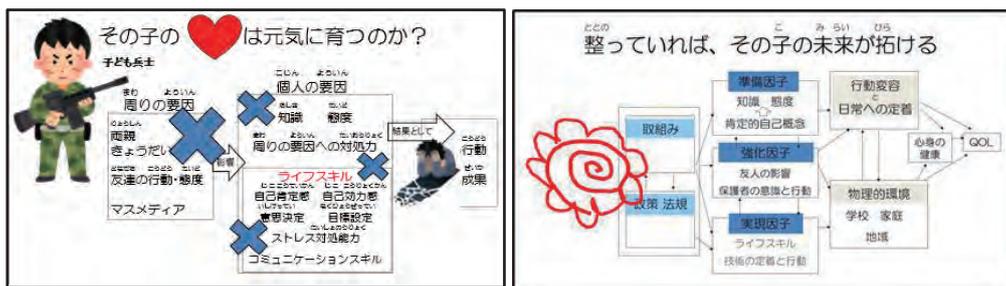


子どもの権利を守る法律

人権という考え方が生まれたのは18世紀にさかのぼりますが、国際社会で基本的人権や自由を尊重する大切さが広く考えられるようになって、取り組まれるようになったのは第二次世界大戦が終わった後です。

最初は1948年の「世界人権宣言」で、国に関わりなく世界中全ての人が持つ権利が示されました。子どもは子どもとしての権利をもつとして1958年に「児童の権利宣言」が宣言されます。この宣言は法律としての効力は持たなかったため、国際社会は、宣言がめざす目標を国際的な法律である「条約」に整えていき、1989年に「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」として国連で採択されました。ちなみに、子どもの権利条約の草案を提出したのはポーランド政府でした。

日本では1947年に定められた「児童福祉法」の基本理念にもとづいて、機関や施設が定められ具体的な施策が展開されています。国際社会の「児童の権利宣言」よりも早く1951年5月5日に「児童憲章」が制定されています。



話し合い「地球市民として国際協力を考える」

進め方

- ① 途上国の子ども支援している集まりを探そう。(検索)
- ② 公開している情報で、興味のある取り組みを書こう。
- ③ 自分も手伝いたい国際協力を考えて、語ってみよう。

17 パートナシップで目標を達成しよう

16 平和と公正をすべての人に

15 陸の豊かさも守ろう

14 海の豊かさを守ろう

13 気候変動に具体的な対策を

<p>医療や福祉で子どもを守る</p> <p>団体の名前()</p> <p>どんな取り組み()</p>	👍
<p>子どもの学び、働くことを支える</p> <p>団体の名前()</p> <p>どんな取り組み()</p>	👍
<p>子どもが安心できる平和・人権文化を築く</p> <p>団体の名前()</p> <p>どんな取り組み()</p>	👍
<p>子どもの快適な生活を可能にする</p> <p>団体の名前()</p> <p>どんな取り組み()</p>	👍

* 時間があれば、1~17のSDGs目標と矢印👍を結んでみよう。

12 つくる責任 つかう責任

11 住み続けられるまちづくりを

10 人や国の不平等をなくそう

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

8 働きがいも経済成長も

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

6 安全な水とトイレを世界中に

あなたがしてみようと思う国際協力のアイデアを書こう。

- 今、すぐにでもしたいと思うことは?
- あなたがしたい国際協力に必要なものは?